

会 議 録

1 会議名

令和 8 年度第 3 回上越市地域公共交通活性化協議会

2 議題

協議事項

議案第 1 号 市営バスにおける自家用有償旅客運送の更新登録について

議案第 2 号 次期総合公共交通計画の策定に係る調査事業の実施について

議案第 3 号 バスの日フェスタ 2026 におけるバスの乗車体験キャンペーンの実施について

報告事項

報告第 1 号 第 2 次上越市総合公共交通計画（後期再編計画）に基づく令和 7 年度バス路線（市営バス）の評価について

報告第 2 号 令和 8 年度利用促進策の実施状況について（バス待合処）

3 開催日時

令和 8 年 8 月 19 日（水） 午後 1 時 30 分から 2 時 20 分まで

4 開催場所

市役所木田第一庁舎 4 階 401 会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した人

委 員：石井委員、藤代委員、菊地委員（代理出席）、星名委員、
田村委員（代理出席）、本間委員（代理出席）、岡田（龍）委員、
岡田（謙）委員、小林委員（代理出席）、上原委員、佐藤（絵）委員、
山本委員、吉岡委員、玉井委員、佐藤（利）委員、橋本委員、
市川委員（代理出席）、朝川委員、西山委員

事務局（交通政策課）：加藤課長、藤井係長、黒田主任、野沢主任、北嶋主事

8 内容

【議案第 1 号：市営バスにおける自家用有償旅客運送の更新登録について】

■ 説明

- ・ 議案書 1・2 ページ 資料 1～13 ページをもとに事務局が説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：なし
- ・ 採決：委員から異議はなく、原案どおり承認

【議案第 2 号：次期総合公共交通計画の策定に係る調査事業の実施について】

■ 説明

- ・ 議案書 3 ページ 資料 15～18 ページをもとに事務局が説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：なし
- ・ 採決：委員から異議はなく、原案どおり承認

【議案第 3 号：バスの日フェスタ 2026 におけるバスの乗車体験キャンペーンの実施について】

■ 説明

- ・ 議案書 4 ページ 資料 19 ページをもとに事務局が説明
- ・ バスの日フェスタ 2026 について頸城自動車㈱が説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：なし
- ・ 採決：委員から異議はなく、原案どおり承認

【報告第 1 号：第 2 次上越市総合公共交通計画（後期再編計画）に基づく令和 7 年度バス路線（市営バス）の評価について】

■ 説明

- ・ 議案書 5 ページ 資料 21 ページをもとに事務局が説明

■ 質疑応答

- ・ 会長質問： 評価結果について確認する。名立区の予約型コミュニティバスの導入保留は、「Ⅳ現状維持」の評価の段階において、運行の効率化・利便性の向上を図る一環として、地元の意向を確認したものと理解している。しかし今回、「Ⅱ運行形態の転換等」という評価が出たことから、改めて予約型コミュニティバスを導入するか別の手段にするかは引き続き検討するという理解でよいのか。
- ・ 回 答： お話のとおり、地域との議論の結果、現時点では保留としたが、今後の予約型コミュニティバスへの移行の可能性を全く否定したものではない。今回評価が変わったので、今後も地域との議論を行い、次期計画の策定に向けて検討していく考えである。

【報告第 2 号：令和 8 年度利用促進策の実施状況について（バス待合処）】

■ 説明

- ・ 議案書 6 ページ 資料 23～27 ページをもとに事務局が説明

■ 質疑応答

- ・ 質問／意見：なし
- ・ 採決：委員から異議はなく、原案どおり承認

【その他：お盆期間における公共交通の利用状況について】

■ 説明

（東日本旅客鉄道㈱）

- ・ 期間は 8 月 7 日（金）から 8 月 16 日（日）の 10 日間で、同じ曜日の間の利用を昨年と比較して説明する。
- ・ 北陸新幹線は、上下合わせて約 80 万人の方に利用いただいた。対前年比 104% で、多くのお客様にご利用いただいた。
- ・ 在来線特急「しらゆき」号については、期間中約 9,000 人にご利用いただいた。対前年比 100% である。
- ・ 今年は昨年と異なり、曜日配列の関係もあり乗車の分散傾向が見られた。自由席の乗車率が金沢駅・富山駅発時点で 100% を超える場合、自由席に乘れない可能性があるため、「指定席誘導」を行っている。今年そのような状況が発生したのは、8 月 16 日（日）15 時台の新幹線に 1 本あったのみである。なお昨年は、指定席誘導をしなければ新幹線が発車できない状況が約 20 本あった。今年はそのようなことは見られなかったにもかかわらず、多くのお客様にご利用いただいた。
- ・ また、今年もお盆期間に上越妙高駅始発の新幹線を運行した。上越地域の方に利用いただくために、利便性を高めたいと設定したが、乗車率はあまりよくなかった。周知不足があったと考えている。20 分後に出る新幹線の指定席・自由席を利用されるお客様がホームで待っている状況だったため、社員が声をかけて隣の新幹線に誘導した。声掛けによって利用されたお客様がいたので、もっと周知をしなくてはならないと考えている。
- ・ 今週末から開催される謙信公祭は、首都圏からも多くのお客様が利用されるので、安全で安定した輸送に努める。

（北越急行㈱）

- ・ 期間は J R と同じく 8 月 7 日（金）から 8 月 16 日（日）の 10 日間を報告する。
- ・ 期間中、越後湯沢駅と直江津駅それぞれに対して、54 本の直通延長運転を行った。通常土休日を中心に越後湯沢方面へ 1 日計 6 本、直江津方面へ 1 日計 2 本の延長運転を行っているが、お盆期間はこれをすべて実施した。
- ・ この 10 日間で約 14,400 人のお客様にご利用いただいた。対前年比 93% である。前年度は約 15,500 人だったため、今年度は若干の減少である。分析では、曜日配列や台風

の接近などが要因と捉えている。

- ・ 入り込み（こちらへ来られる方）のピークは8月8日（土）で、引き上げ（東京方面へ戻られる方）のピークは8月15日（土）であった。

（えちごトキめき鉄道㈱）

- ・ 期間はＪＲ、北越急行と同じく8月7日（金）から8月16日（日）の10日間で、前年および前々年と比較する。なお、定期券利用者の数値は含まない。
- ・ 今年は32,574人、昨年は32,027人で、547人増の前年比101.7%であった。一方、前々年と比較すると546人減の98.4%であった。
- ・ 8月7日（金）、8月8日（土）は前年の同曜日を上回った一方、曜日配列の関係で飛び石の平日があり、90%を下回った日があった。また、台風15号接近の影響も考えられる。一方で、8月8日（土）、8月15日（土）に新潟県鉄道発祥140周年のイベントを開催した関係もあり、両日の利用が増えたと考えている。

（頸城自動車㈱）

- ・ 路線バスは、昨年は運賃改定により増収となったが、今年は同条件で比較すると、4月から7月までで約105%、5%ほど利用が伸びている。お盆期間中もほぼ同様な現象で、5%ほど利用が増えている。
- ・ 県内高速バスは今年4月に運賃改定を行い、運送収入は前年より10%を超えている。改定率は9%のため、1~2%利用が増えている。お盆期間中、満車で乗れなかった便のある日があった。
- ・ 佐渡汽船連絡バスは、8月8日（土）から8月16日（日）と、8月22日（土）・23日（日）に臨時便を設定して対応した。

（上越市ハイヤー協会）

- ・ タクシーについては、他の交通機関のように全容をつかむのが難しい。上越市内にハイヤー協会所属の会社は5社あるが、頸城ハイヤー㈱とアイエムタクシー㈱の数字で報告する。
- ・ 乗務員の減少が問題視されているが、8月10日（月）から8月16日（日）の1週間の各地の動きを見ると稼働自体は昨年とほぼ変わらない。ただ、全体の動きでは、利用は昨年比81%となっている。タクシーをご利用いただくお客様の減少が見られた。夜間に多く動いたのは8月10日（月）・8月14日（金）であるが、かなり利用が落ち込んだ。
- ・ 上越妙高駅からアイエムタクシー㈱を利用された人は、昨年比92%である。必要な時間帯にタクシーが用意できなかったことがあったほか、家族の送迎が多かったと考えている。